

EXHIBIT 3M TO MATSUDA
DECLARATION
(ORIGINAL)

Petition for *Inter Partes* Review of
U.S. Pat. No. 7,477,284
IPR2013-00327
EXHIBIT
Sony- 1121

From: vc-request@myo.inst.keio.ac.jp on behalf of Toshihiko YAMAKAMI
<yam@nttmhs.tnl.ntt.co.jp>
Sent: Thursday, October 30, 1997 7:49 AM
To: vc@myo.inst.keio.ac.jp
Subject: [CS] SIG cyberspace meeting memo 97/10/30(Thu) draft

仮想都市研究会研究専門委員各位

今日の議論で、サイバースペース研究会にしていく、ということで
[VC]から[CS]にしてみました。

今日の議事録（案）です。
よろしくコメントなどありましたら、ご指摘下さい。

山上俊彦

第3回仮想都市研究専門委員会議事録（案） 97.10.30 山上

1. 概要

場所：大手町アーバンネットビル17F NTTマルチメディアビジネス開発部706会議室

時刻：1997年10月30日(木) 16:00-18:00

参加者：松下（慶大）、木下（NTT）、岡田（慶大）、根本（NEC）、椎尾（玉川大）、佐藤（東北大）、
布川（宮教大）、山上（NTT）

資料：仮想都市研究専門委員会議事録（山上）

第2回研究準備状況報告書（佐藤）

第3回研究連絡委員会の議題（山上）

研究活動報告（案）／研究委員会活動計画（案） （山上）

2. 概要

2. 1 前回議事録

・法人賛助会員については別途、趣意書を用意する（山上、岡田）／法人賛助会員への資料送付は松下研で当
面行う（合意）

・学会についてはVR学会では「仮想都市空間」となっているが、仮想都市（サイバースペース）とし、頃を
見て、サイバースペース研究会として、投稿などをしやすくする。英語はSIG-CyberSpaceとする。（合意）

2. 2 第2回研究準備状況報告書

・印刷に関しては別刷の最低部数、価格について三協印刷に確認する（椎尾）

・印刷は一元化するため、三協印刷とし、研究会での印刷単位は100部とする（合意）

・入会申込書を登録担当の山上から印刷担当の椎尾委員へ送付する（合意）

・データシートは出せば収入になるはず（岡田）／データシートについては6月の段階ではVR学会では出さ
ないことになっていた。学情、VR学会に再度確認する（山上）

・VR学会への問い合わせメールアドレスを担当委員に連絡する（山上）

・著作権については資料通りで承認。もし、VR学会から別の規定が指定されればそれを盛り込む。（合意）

・会員名簿、登録用紙を作成して会場にもっていく（山上）

2. 3 第3回研究準備状況

・担当委員を再確認し、会場、広報、原稿とりまとめなどを分担する。広報資料は布川委員が作成する。広報資料は松下先生が11/28に岸本先生（信学会OFS）と協賛を折衝する。今回は有料広告は使わず、メーリングリストを活用する。投稿申込は98/1/15、原稿締切は98/2/15とする。テーマは「一般」（合意）／映像情報メディア学会は協賛可能（根本）／メーリングリスト情報を提供する（山上）

2. 4 研究委員会報告

・研究委員会報告を了承。会計については情報を岡田幹事より報告担当へ連絡する（合意）／報告は山上が作成する（合意）

2. 5 来年の計画

・研究会3回、シンポジウム1回を予定し、それぞれ研究会の広報のため、既存研究会と共同で実現する。98年6月研究会は担当（幹事：神田、委員：浅野、金子、宮崎（沖電気）、山上）で信学IN研究会、と、98年9月研究会は担当（幹事：根本、委員：布川、松田、宮里）で信学OFS研究会と、99年3月研究会は担当（幹事：宮崎（三菱電機）、委員：清末、佐藤、リエゾン：椎尾）は情処HI研究会と調整する。

・98年11月27日シンポジウムはテーマを「サイバースペースとグループウェア」（仮）として、全幹事担当、情処GW研究会リエゾン、委員：竹村、田中、西口、とする。場所は代々木青少年オリンピック記念センター、工学院大学、などを候補（東京）とする。

・地方開催は、共同する研究会と調整するが、仮想都市研究会主導でやるとすると、明石、仙台、京阪奈（NEC, 98年3月以後）、などが候補となる。

2. 6 会員募集

会員入金は5名。研究委員の入会促進のため、振込先と申込用紙を配布する（合意）

以上